

訪問歯科は基本的に全て保険適用です

訪問歯科は、基本的に全て国の定める保険適応で行うことができます。
交通費や出張費、謝礼等は一切かかりませんので、加齢や疾病、認知症、その他障がいをお持ちで、
歯科医院への通院ができない、また難しいという方はぜひご利用下さい。

※ 歯科医院が算定する介護保険の居宅療養管理指導は歯科医師の判断で必要に応じて実施される為ケ
アプランの対象外です。例外的にケアプランのなかには含まれず、限度基準額の対象にはなりません。

<医療保険> + <介護保険>

訪問歯科診療の料金は

診療費

+

指導費

+

治療費

の3つの料金が発生します

例)1割負担の場合 (費用は目安です。詳細はスタッフよりご説明させていただきます。)

診療費	(在宅)訪問歯科費	1回：1,100円
指導費	(在宅)居宅療養管理指導費	1回：356円～865円
治療費		
総入れ歯(型取りから完成まで)	片方：4,000円～5,000円	
部分入れ歯(型取りから完成まで)	片方：2,000円～4,500円	
入れ歯の調整	100円～300円	
入れ歯の修理	500円～3,000円	
虫歯治療(進行度合いによる)	1本：600円～4,000円	

訪問診療日記



訪問診療の現場で歯科医師や歯科衛生士が感じる
こと、思うことをリアル
にお届けしています！

11月8日は“いい歯の日”です。例年、当院では11月～12月初旬にかけて、訪問している施設や近隣の在宅で歯科健診を行っています。健診ではご依頼を受けてお口の中を拝見すると、ほとんどの方が何かしらの処置が必要な状態であることが多いです。なぜこれまで歯医者さんに診てもらっていなかったかお聞きすると、「特に痛みがなかったので…」とお話しされます。歯やお口のトラブルは痛くなったら始めて皆さん後悔されます。そうなるからではお金も治療期間も余分にかかります。そうならないように、年に一度は健診を受け、気持ちよく年末を迎えませんか？

急な痛みや入れ歯治療・口腔ケアのご相談は → ☎06-6623-2401

The News Of 小室歯科 近鉄あべのハルカス診療所

お口のチカラ

秋の特別号

発行元:小室歯科 近鉄あべのハルカス診療所 電話:06-6623-2401
〒545-6008 大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43 あべのハルカス近鉄本店8F

介護事業者様のためのお口と体の健康情報誌
小室歯科・地域連携室の

Okuchi No Chikara
お口のチカラ

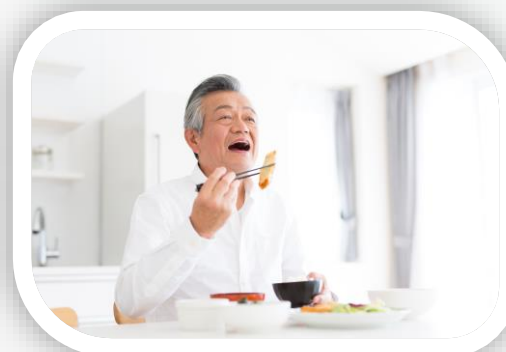
秋の特別号

11月は歯科健診月間

～健口に年末年始を迎えるために～

院長

小室 暁 先生



歯科健診ってなに？

詳しくは中面へ

Information

☐ 歯科健診について

Column

☐ 痛くないけど怖い歯周病と口腔機能低下症について

☐ 訪問歯科の費用について

☐ 訪問診療日記

Komuro
Dental
Clinic

医療法人白亜会

小室歯科・矯正歯科

近鉄 あべのハルカス診療所

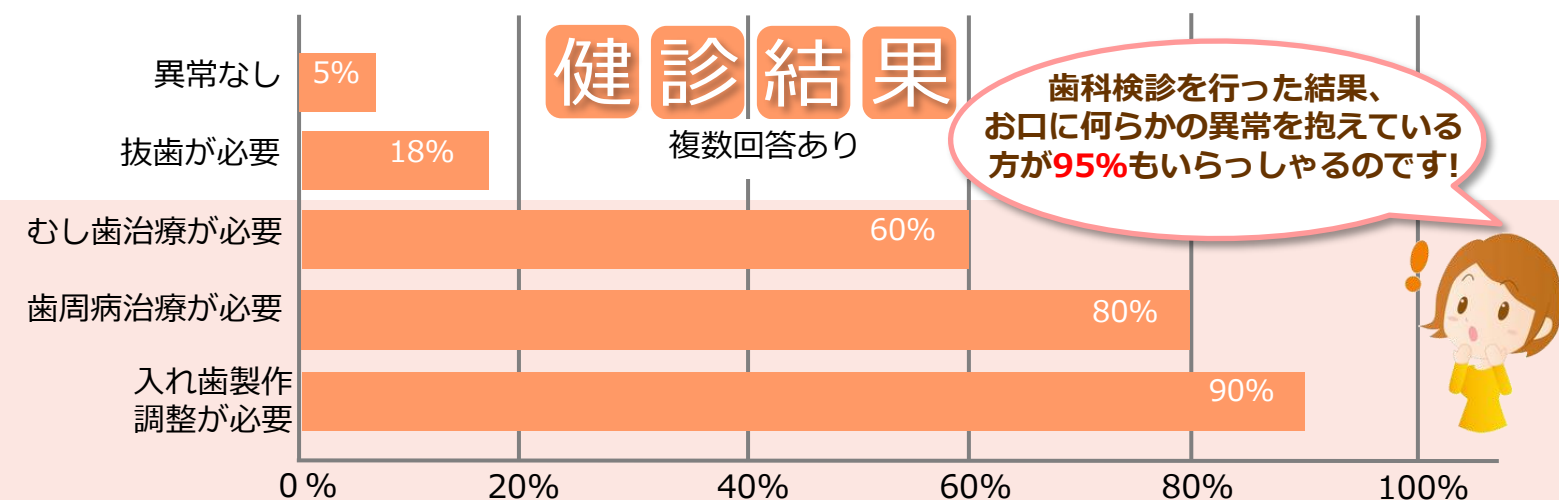
〒545-6008

大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43
あべのハルカス近鉄本店8F

☎ 06-6623-2401

歯科健診について

「今は歯が痛い訳じゃないし…」 「何で歯科健診を受けたほうがいいの？」
 そのようにお考えの方は多いのですが、何も異常がないと思って受けた歯科健診で、ほとんどの方が何らかのお口の異常を抱えていることが分かっています。また、厚生労働省の調査において、3か月に一度の訪問歯科健診を受けている高齢の方は、未受診の方より、**年間34万円の医療費が軽減**できていることが発表されています。お口の状態を管理することで、**病気にかかりにくい身体づくり**ができます。といえます。



歯科健診の具体的な内容

1. むし歯や歯周病、口腔機能など、まずは全体を診査します
2. 誤嚥性肺炎のリスク診断（舌藻の付着等の口腔内環境）
3. 入れ歯は適しているか、ちゃんと噛めているかのチェック
4. 正しいブラッシング方法と入れ歯清掃方法のアドバイス

[illegible]

歯科健診の流れ

1. 歯科健診についてご希望の旨、ご連絡ください
2. 日程をお打合せし、歯科健診を行います
3. 健診票を作成し、健診内容のご説明をいたします
4. 必要に応じて、ご家族や周辺介護職様に報告します
5. ご希望に応じて、治療やケア、療養の助言を致します



歯科健診のご案内

と歯周病怖いけど痛いじゃない口腔機能低下症について



痛くないけど怖い歯周病と口腔機能低下症について

痛みが教えてくれるサインは「むし歯の進行」と「入れ歯の不具合」しかありません。しかし、**実際に歯を失う原因の第1位は痛みを伴うことが少ない歯周病**であり、最近では、食生活に不調をきたし、**フレイルの初期段階といわれる口腔機能低下症**の予防の重要性が強くいわれるようになりました。これらは単に歯を失い、食べる機能が低下するばかりでなく、進行とともに、**外出や対話、社会参加の活力まで奪ってしまいます**。それほど身体の入りの口であるお口の問題は重要なのです。

歯周病 が引き起こす様々な問題

歯周病菌によって歯を支える骨が溶けてしまい、**歯を失ってしまう原因**となります。また、歯周病菌が増加すると、歯周病菌が出す酵素により口の中の粘膜が破壊され、**ウイルスに感染しやすくなります**。誤嚥性肺炎のリスクが高まるだけでなく、糖尿病や動脈硬化などの**全身疾患における発症や進行**にも大きく関わっています。また、歯周病による口臭の悪化から、コミュニケーションを妨げる原因にもなります。最新の研究では、**認知症の発症や進行**に、歯周病菌が関係していることも発表されています。また、歯科衛生士による処置によりインフルエンザの発症が**10分の1に抑制**されたという報告もあります。

口腔機能低下症 が引き起こす様々な問題

歯周病菌によって歯を失ってしまったり、入れ歯の調整ができておらず正しく噛めない状態のままで、「痛くないから」と放置していると、**噛むチカラ、飲み込むチカラ、唇を動かすチカラ、舌のチカラが低下**してしまいます。これを「口腔機能低下症」といいます。また、口腔機能低下症により、食形態の変化やしっかりと食事がとれないことによる低栄養状態となり、体力・免疫力が落ちてしまうことを「オーラルフレイル」といいます。口腔機能低下症から引き起こすオーラルフレイルをそのまま放置していると、**運動障がい・栄養障がい**に起因し、**要介護段階を悪化させる原因**となります。口腔機能低下症によるオーラルフレイルは、初期段階では維持改善を望めますが、**進行が進んでしまうと現在の状態を維持することすら困難**になってしまいます。痛みを伴わない見えない病気だからこそ、定期的に「今の状態」を診てもらい、適切な処置を受けてください。(保険適用)

歯科健診・歯やお口に関するお問合せ窓口



地域連携室

受付時間 平日・土日祝：10：00～20：00
※ハルカスが休館日は休診となります

TEL 06-6623-2401